

# 働く意識と責任感 (モチベーション向上)

# 1. 社会の一員としての自覚

社会は、人と人のつながりで成り立っています。  
他人と良好な関係を築き、物事を円滑に進めるためにも、  
『社会の一員』であることを自覚した行動が求められます。

▼ 社会の一員として求められるのは・・・

- (1) 他人に迷惑をかけない
- (2) 他人の助言に耳を傾ける
- (3) 社会のルールに従う
- (4) 常識やマナーをわきまえる

## (1) 他人に迷惑をかけない

他人に迷惑をかけるような行動は、社会人である以前に、人として好ましくありません。

他人とうまく共存していくためには、公共の場でも、職場でも、他人に不快な思いをさせたり、不便な状況を強いたり、あるいは危険な目にあわせたりすることのないように心がけましょう。



## (2) 他人の助言に耳を傾ける

自分の考えを相手に伝える『自己主張』も大切ですが、他人の考えに耳を傾ける『他者傾聴』も重要です。

自分が常に正しいと思い込んでしまうと、問題に気づくのが遅れたり、新しい発想が出来なくなったりします。

他人の助言に素直な心で耳を傾けると、客観的に自分を見直す事が出来、次の一步を踏み出すきっかけになります。  
勿論、すべての助言を鵜呑みにする必要はありません。  
いったん自分の頭で考え、整理した上で、具体的な行動に移しましょう。

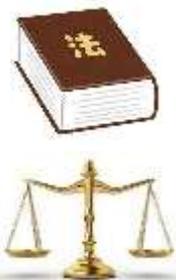


### (3) 社会のルールに従う

さまざまな考え方をもち人々が互いを尊敬しながら共存していくために、社会にはさまざまな『ルール』が存在します。ルールを守らないと、他人に迷惑をかけたり、社会的な信頼を失ったりすることになりかねません。

その社会の一員として守るべきルールには、次のようなものがあります。

ルールの種類	内容
法律	国会での議決を経て制定され、一般的に強制力を持つ。
条例	地方自治体により法律の規範内で制定される。
倫理	善悪などの判断において、人として守るべき事。道徳または、モラルとも呼ぶ。
社内規定	社内向けに制定された企業独自のルール。



## (4) 常識やマナーをわきまえる

人としての基本的な常識があり、正しいマナーを心得ていると、相手に好印象を与えるだけでなく、社会人としての高い評価を得る事が出来ます。

また、どのような場面においても、自信を持って周囲の人と接することが出来るようになります。



## 2. 組織の一員としての自覚

経営を実行するのは、会社という組織を構成する社員です。企業が責任ある行動を通して社会の一員としての信頼を高め、自社・客先の目標を確実に達成していくためには、社員一人一人の心構えが重要になります。

▼ 組織の一員として求められるのは・・・

- (1) 会社のルールを守る
- (2) 自分の立場や役割を理解して行動する
- (3) 指示系統に従って業務遂行する



## (1) 会社のルールを守る

会社には、社員が守るべき基本的なルールが存在します。組織によって種類にも内容にも違いがありますが、組織の一員としてルールを守るのは当然のことです。まず、自分の会社にどのようなルールがあるのかを確認し、ルールを守って快適に仕事ができる環境を維持しましょう。

社員が守るべきルールには、次のようなものがあります。

ルールの種類	内容
就業規則	定年、勤務時間、給与など、社員が就業するにあたっての条件を定めたもの
各種業務マニュアル	業務の担当者、作業を行なうタイミング、具体的な手順などを定めたもの。



## (2) 自分の立場や役割を理解して行動する

会社に就職すると、いずれかの部署に配属されます。組織の一員である社員は、配属された部署の目標を達成するために、それぞれの立場や役割に応じて活動する事になります。その為にはまず、自分の置かれた立場や、自分に求められている役割を理解することが重要です。



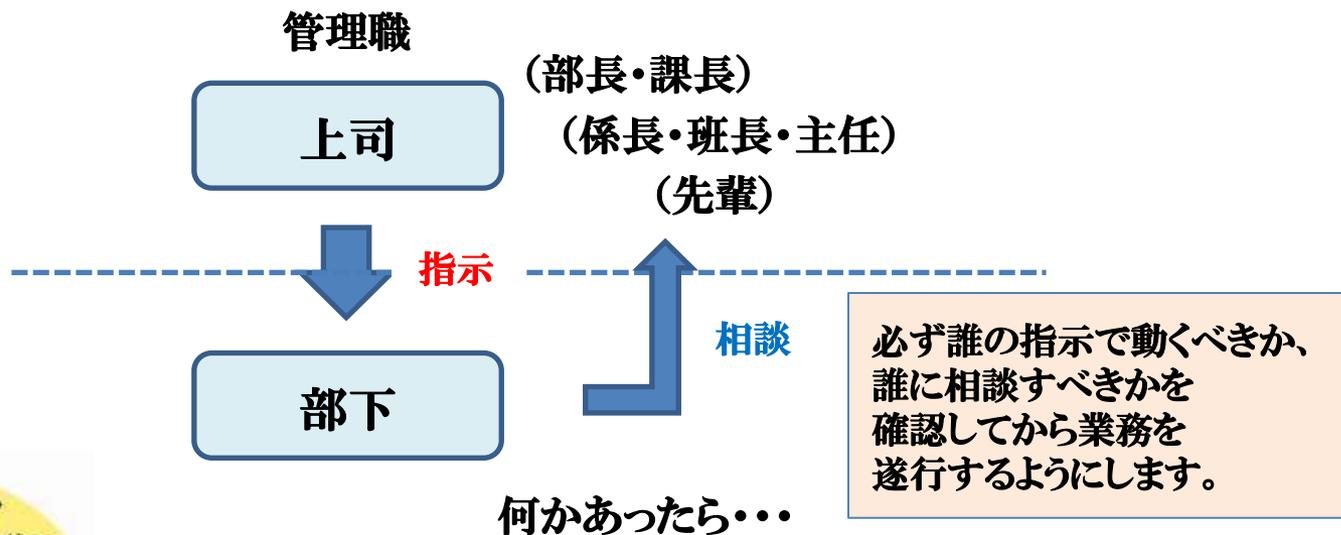
- 上司や先輩からの指示を受けるだけでなく、自分に何を期待されているのかを考え、期待に応えられるように努力しましょう。
- 自分の力では、十分な成果を出すことが難しい場合には、他人の協力を仰ぎましょう。

職場で共に働くメンバーの立場や役割を理解すると、自分の立場や役割をわきまえた上で、適切なメンバーに速やかに相談したり、協力を依頼したりすることが出来ます。



### (3) 指示系統に従って業務遂行する

『指示系統』とは、誰の指示を受けて誰が動くかという順序を示したものです。



### 3. 働くことに真剣になろう

自分の将来を思い描き、誰もが真剣に選んだはずの就職先。その気持ちを大切にするためにも、改めて働くことについて考えてみましょう。



#### (1) 働く目的を振り返る

現在の職場に就くにあたって自己分析を行ない、自分に何ができるのか、自分に何が合っているのかを自分に問いかけ、仕事や会社を探したと思います。

就職できたことで安心してはいけません。

自分は何のために働こうと思ったのかももう一度振り返り、組織の一員として自分に何ができるのか、自分は何をすべきなのかを考え、努力する必要があります。



## (2) 仕事の生産性を上げる

企業は、適正な利益を生み出し、将来にわたって存続する事を目的に活動しています。

そこで働く社員の給料は必要経費です。

社員を雇用している限り、一日中ただ席に座っているだけでも給料を支払わなければなりません。

『時は金なり』という言葉がありますが、仕事をする際には『勤務時間は金なり』を意識するとよいでしょう。



### (3) 働く姿勢が勤務態度にも表れる

遅刻や欠勤、早退、私用での外出が多いと仕事を効率よく進める事はできません。

公私を混同したルーズな勤務態度はもってのほかです。組織および個人の目標達成に向けて、自分の能力を最大限に発揮しようと思えば、おのずと時間の使い方にも厳しくなるものです。



## 4. 仕事に責任を持とう

会社に就職すると、組織の一員として一定の成果を出すことが求められます。

社会人に求められる責任の重さについて理解しましょう。

- 成果を出すことへの責任
- 失敗に対しての責任(失敗は成功のもと)



# (1) 成果を出すことへの責任

## ① 学生時代



- 学校を休んでも、授業をさぼって遊んでいても、その結果単位を落としたとしても、困るのは自分自身であり、誰かに多大な迷惑をかける事はありませんでした。



- テストの点数が悪かったことや、単位を落としたことについて、学校から責任を問われることもありませんでした。



学校のためにではなく、自分の学力や能力の向上のために学んでいたから責任を問われることはない。



## ② 社会人

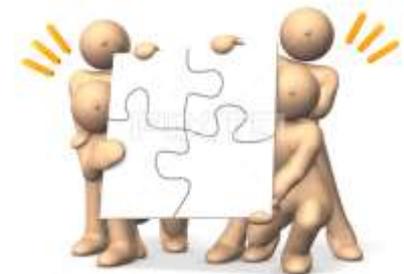
企業は経営目標を達成するために各部署に必要な役割を割り振ります。



各部署は、部署目標を設定して活動します。



会社から対価となる給与をもらって仕事をする事からも、期待に応える責任がある事がわかります。



## (2) 失敗は成功のもと

成果を出すことだけではなく、成果を出すためのプロセスや、失敗に対しても責任を持つことが重要です。

会社では、学生時代と異なり、失敗したときの周囲への影響も大きなものになります。

だからといって、失敗の責任を他人に押し付けてはいけません。失敗した原因を分析し、素直に反省し、次の機会には成功するように学習する必要があります。

経験を積むことで、自分を成長させる事が出来ます。  
仕事には常に責任が付いて回るからこそ、それだけやりがいもあるのです。



## 5. 仕事を進める上で必要なもの

組織の一員として、仕事を進める上で必要な意識や姿勢について考えてみましょう。

### ▼ 仕事を進める上で必要なものは・・・

- (1) 当事者意識
- (2) 問題意識
- (3) 主体的な姿勢



## (1) 当事者意識

『 **当事者意識** 』とは、ある事柄に自分が直接関係しているという意識のことです。

そこで  必要なのが

『 **責任感** 』



業務を遂行する上では、常に『 **これは私の仕事である** 』という意識を持つことが大切です。

『 **自分には関係ない** 』とか『 **指示されたからやる** 』では、最初から『 **失敗しても自分のせいではない** 』と主張しているようなもので、まるで責任感が感じられません。

このような気持ちで仕事に取り組んでいると、結果として、うまくいかないからと途中で投げ出したり、失敗したときの責任を他人に押し付けたりすることになります。

それとは、逆に・・・

▼ 仕事に積極的に関わろうという気持ちでいると・・・

うまくいかないときや失敗したときなどにも、『何とかしよう』とか『次はこうしよう』と意欲が湧いてくるものです。

また、意欲的に仕事に取り組む人に対しては、周囲も気持ちよく手を差し伸べてくれます。

▼ 当事者意識を持つためには・・・

会社の一員として、他の部署が担当している業務や、企業としての取り組みを理解することも大切です。

たとえば、会社が環境問題への取り組みを積極的に推進しているのであれば自分の担当業務において環境への貢献を考えてみる事も出来るでしょう。

会社の中で起きている全てのことは、『自分に関係あること』と考えることが重要なのです。



## (2) 問題意識



『 **問題意識** 』とは、目の前の事象に対して、常に問題点が無いかどうかを問いかける意識のことです。

『 **一番効率の良い方法だ** 』と思っていたようなことも、改めて見直してみると、改善点が見つかるものです。  
仕事に慣れ、経験を積みれば積むほど、今までに見えなかったことが見えるようになります。

次のようなことが思い当たるとしたら、もう一度見直しましょう！

- 作業中で、簡略化出来る事や省略できることが多い。
- 作業方法が決まっておらず、毎回異なる方法で行っている。
- 一連の作業の中に、中断や遅延が発生する作業がある。

日頃から問題意識を持って仕事に取り組み、常に改善点がないかどうかを考えるように心がけるとより効率よく業務を遂行できるだけでなく、さまざまなノウハウが蓄積され、自分自身を成長させることができるでしょう。



### (3) 主体的な姿勢

当事者意識や問題意識を持って仕事に取り組むことは、仕事への『主体性』を持つことにもつながります。

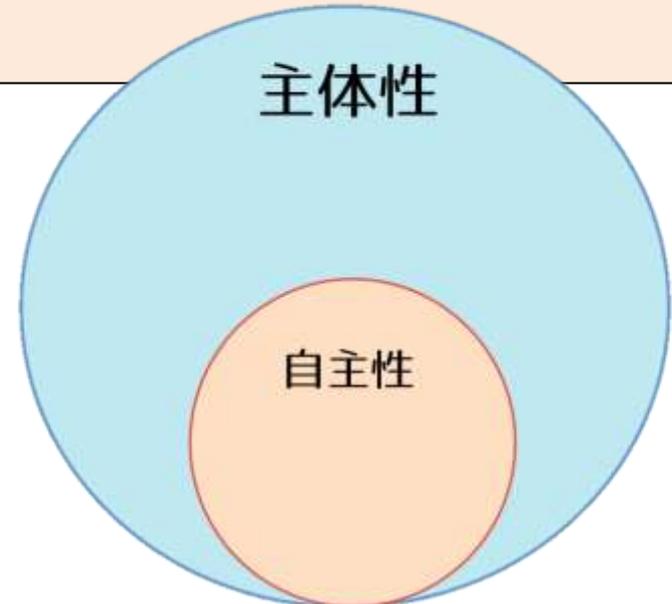
主体的に仕事に取り組むと、成果を上げるためには、どうすればいいのかを自分の頭で考えるようになり、仕事上のトラブルを未然に回避したり、トラブルによる影響を最小限に抑えられるように対処したりする能力も養われます。



## (4) 主体性と自主性の違いとは

仕事では、やはり主体性が重要視されます。主体性がある人は、指示がなくても、その時々状況に応じて自分がすべきことを考え、判断し、実行に移すことができます。

また、主体性を持った人が集まった集団は、それぞれが自走しながら目的に向かっていけるので、その分成果を上げやすくなります。



## 【 まとめ 】

社会人としての自覚が足りないと、自分が恥ずかしい  
思いをするだけではなく、会社に迷惑をかけたり、損害を  
与えたりする可能性もあります。

そもそもなぜ働くのかという基本に立ち返り、組織の中での  
自分の役割を見失わないようにしましょう。



# 【性格診断】

## あなたの「責任感の強さ」を診断！

あなたは自分の力で  
やり遂げようとするタイプ？

責任感が強い人は、何が起きても自分の力でやり遂げようとしています。

反対に責任感がない人は、トラブルなどが起きた場合、他人のせいにしてしまいがちです。

あなたはどちらの傾向が強いタイプでしょうか。  
診断テストで探っていきましょう。

# 『 責任感の強さ 』診断

質問は、全部で 10問 あります。

当てはまるものがいくつあるのか、数えてみてください。

それでは、いってみよう。

# あなたは自分の力でやり遂げようとするタイプ？

- 毎日の出勤時間は早めだ
- 朝食はしっかり取る
- 朝一番の仕事は、メールチェックと返信
- 夜、おいしいものを食べるときは、朝と昼の食事は控える
- 通信教育を受けている(受けたことがある)
- よほど困らない限り、人に相談をしない
- 疲れたら甘いものを食べる
- 普段からエレベーターではなく、階段を使うようにしている
- 約束をしたことは、スケジュール帳にしっかり書き込む
- 何かしてもらったら、形あるものでお礼をする



**お疲れ様でした！  
あなたはいくつ  
当てはまりましたか？**

それでは…

**結果を見てみましょう！**

**【責任感の強さ】**あなたは自分の力でやり遂げようとするタイプ？

当てはまった数が 0 ~ 2

## 無責任なタイプ

あなたは、責任感があるとはいえないタイプのようです。  
時間や約束ごとを守れないことが多くはありませんか？  
できもしない約束を、軽いノリでしてしまふことなども多いかも  
しれません。

あなたのせいで他人に迷惑をかけたり、スケジュールが変更にな  
ったりすることが度重なると、人からの信用を失ってしまいます  
ので、注意が必要です

**【責任感の強さ】**あなたは自分の力でやり遂げようとするタイプ？

**当てはまった数が 3 ~ 5**

**キャパ以上のことを引き受けてしまう人**

あなたは、まずまず責任感がある人です。約束もルールもほぼ守るでしょう。

ただ、あなたは他人から頼りにされると必要以上に頑張ってしまう傾向があります。

自分の力以上のことにも、頼りにしてくれた人の期待に応えようとするでしょう。

そのため、自分で自分の首をしめ、結局できずに迷惑をかけてしまうことがあるのではないのでしょうか。

**【責任感の強さ】**あなたは自分の力でやり遂げようとするタイプ？

当てはまった数が 6 ~ 8

## 責任感がある人

あなたは責任感がある人です。任された仕事やプロジェクトがたとえ困難なものや、新たに勉強が必要なものでも、途中で投げ出さず、やり遂げる力があります。

どんなことにも苦手意識を持たず、自分ができる全力を尽くすはずです。

ただ、途中でトラブルが起こったりすると、自分のせいだと責任を感じ過ぎ、激しく落ち込みやすいので、あまり自分を責めないようにしましょう。

**【責任感の強さ】**あなたは自分の力でやり遂げようとするタイプ？

**当てはまった数が 9 ~ 10**

**自分に厳しく、他人にも厳しい人**

あなたは責任感が強すぎる人です。自分に厳しいだけではなく、他人にはもっと厳しいでしょう。

ミスをしたら激しく落ち込み、しばらくは立ち直れません。また、他人がミスをしたときには、「人のせいにするな」とか「言いわけは聞きたくない」などどつい言うってしまうのではないのでしょうか？

自分にも他人にも、もう少し寛容になりましょう。

## 《 責任感 》

責任感が強いと期待に応えようと無理をしがちです。責任感の強さをセーブしつつ、周りとの協調しながら物ごとを進めると、スムーズに運びやすいでしょう。そのあたりのバランスをとっていくことが大切です。



**END**

